

# 秋の七草の1つとして昔から親しまれて来た植物。

## < 植物名 >

ミスカンツス  
ススキ 'イトススキ'

## 水やり

水分を好む。乾燥させないように注意。

## 置き場所

日当たりが良く湿った場所を好む。

## 用土肥料

痩せ地で十分育つ。

## 植え替え

特記事項なし。

## ふやし方

特記事項なし。

## 冬越し

戸外で越冬する。

使い方 庭植え、鉢植え

学名 Miscanthus sinensis 'Gracillimus'

英名

属名 ススキ

科名 イネ

性状(分類) 多年草

原産地 東アジア

花の色

開花期 8 ~ 10月

購入時期

草丈 100 ~ 200 cm

ID 1116

季節 夏 秋

JFコード 26055



## 冬越しと置き場所

日当たりが良く湿った場所を好む。戸外で越冬する。

## その他の解説

痩せ地で十分育つ。ススキは花穂の形から「尾花」とも呼ばれる。

## 特徴1

群生したその花穂が風に吹かれてなびく姿には独特の風情がある。水分を好むので乾燥させないように注意。

## 特徴2

ススキは日本、中国など東アジア原産のイネ科の多年草で、株立ちになり大群生する。群生したその花穂が風に吹かれてなびく姿には独特の風情がある。葉は細長く、茎とともに硬質で、葉の縁には鋭い鋸歯を持つ。花穂は10~20本に分かれ、白い毛に覆われた小穂が密生する。日本では山野のいたるところに見られ、秋の七草の1つとして昔から親しまれて来た。